

# 日本／東アジア映像研究センター 設立記念シンポジウム



## 日本・東アジア映画の現状と展望 ～映画『スパイ・ゾルゲ』をめぐって～

開催日 平成21年11月20日(金曜日)  
時間 午前10時00分より午後4時20分まで  
場所 学校法人城西大学 東京紀尾井町キャンパス

- 第一部 -  
10:00-13:02

映画『スパイ・ゾルゲ』上映

- 第二部 -  
14:00-15:00

挨拶

篠田正浩 (映画監督 城西国際大学客員教授 本センター名誉所長)

講演

私の出会ったアジアの映画人とアジア映画の将来

佐藤忠男 (映画評論家 日本映画学校校長)

- 第三部 -  
15:20-16:20

対談

映画『スパイ・ゾルゲ』をめぐって

篠田正浩 (映画監督 城西国際大学客員教授 本センター名誉所長)

佐藤忠男 (映画評論家 日本映画学校校長)

司会進行

成瀬活雄 (城西国際大学教授 本センター所長)

村川英 (城西国際大学教授 本センター研究員)

1930年代、朝日新聞記者の尾崎秀実は赴任先の上流でひとりの男、  
ジヤルト・ゾルゲと出会う。ナチス党員のジャーナリスト、ゾルゲの  
正体はソ連の諜報員。国土の両側をナチスドイツと日本軍の脅威に  
さらされていたソ連は、両国の動向に神経を尖らせていた。その後  
ゾルゲはドイツの新聞“フランクフルター・ツァイトUNG”紙の特派員  
として来日、日本のドイツ大使館に深く食い込んでいく。やがて彼は  
日本に返っていた尾崎と再会、ゾルゲの語る理想に共鳴した尾崎を  
協力者に取込み、後に“ゾルゲ諜報団”と呼ばれる一大スパイ組織を  
着々と作り上げていくのだった…。

主催 日本／東アジア映像研究センター  
学校法人城西大学国際学術文化振興センター  
城西国際大学メディア学部

協賛 キネマ旬報映画総合研究所

お申し込みとお問い合わせ

10月26日(月) AM.10:00より150名まで受け付けます。(参加費無料)

参加希望の方は、FAXまたは電子メールm-info@jiu.ac.jp宛てに、お名前、

ご住所、電話番号(FAX番号)を明記のうえお申し込みください。

(応募者多数の場合は抽選)

FAX:0475-55-8822 城西国際大学メディアコミュニケーションセンター宛

デザイン:城西国際大学メディア学部メディア情報学科3年坂本光

## -開催主旨-

2009年5月、SCMS（アメリカ映画メディア学会）設立50周年を記念し、城西国際大学の主催による「映画・映像国際ワークショップ」が開催され、世界各国から、日本・東アジア地域の映画・映像に関する研究者が一同に会し、大きな研究成果を収めました。豊かでユニークなメディアカルチャーを持つ日本において、今後も日本・アジア映画研究の拠点として、国際的な映像メディア学研究的活動・交流の場となるよう設立されたのが「城西国際大学日本・東アジア映像研究センター」です。



本センターは、日本と東アジア地域の映画・映像・演劇文化の調査研究および、国際シンポジウムの開催をおこない、国際的映像メディア研究者の交流促進事業を積極的に展開します。国内外の日本映画研究者による定例研究会や、本センター企画によるシネマテークを定例的に主催し、日本・東アジア映像研究者のための、日本における研究拠点としての事業を行います。

また本センター企画による公開講座を実施し地域社会へ日本・アジア映画の研究資産を還元すると共に、映画産業界、官公庁等の外部機関との共同研究、産学協働による映画・演劇作品の制作・公開や、日本・海外のフィルムセンターとの相互交流など、他に例のないユニークな活動を通じて、日本・東アジア地域の映像文化の発展に寄与する役割を果たし、その遂行に資する人材の育成に努めていきます。

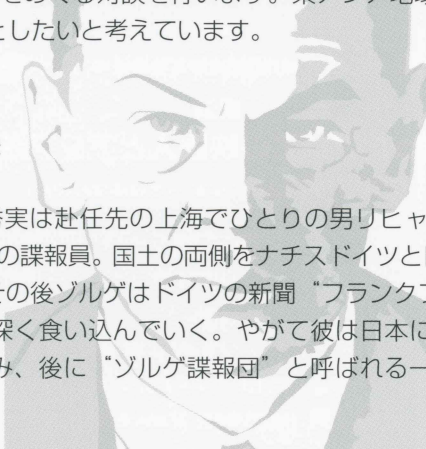
日本／東アジア映像研究センターの設立を記念して開催いたします、今回のシンポジウムでは、日本を代表する映画評論家であり、アジア映画研究者の先駆者であり、またアジア・フォーカス福岡映画祭のディレクターとして、長くアジア映画を世界に紹介してきた佐藤忠男氏に、「私の出会ったアジアの映画人とアジア映画の将来」と題して講演をしていただきます。また、篠田正浩名誉所長による監督作品『スパイ・ゾルゲ』を上映し、篠田名誉所長と佐藤忠男氏による『スパイ・ゾルゲ』をめぐる対談を行います。東アジア地域の映画産業の現状と将来の展望とを、内外に向けて発信するシンポジウムとしたいと考えています。

## -開催概要-

### 第1部 映画『スパイ・ゾルゲ』上映

#### 映画『スパイ・ゾルゲ』あらすじ

1930年代、朝日新聞記者の尾崎秀実は赴任先の上海でひとりの男リヒャルト・ゾルゲと出会う。ナチス党員のジャーナリスト、ゾルゲの正体はソ連の諜報員。国土の両側をナチスドイツと日本軍の脅威にさらされていたソ連は、両国の動向に神経を尖らせていた。その後ゾルゲはドイツの新聞“フランクフルター・ツァイトUNG”紙の特派員として来日、日本のドイツ大使館に深く食い込んでいく。やがて彼は日本に戻っていた尾崎と再会、ゾルゲの語る理想に共鳴した尾崎を協力者に取込み、後に“ゾルゲ諜報団”と呼ばれる一大スパイ組織を着々と作り上げていくのだった…。



### 第2部 講演 私の出会ったアジアの映画人とアジア映画の将来

近年、イラン、中国、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、ヴェトナム、モンゴル、フィリピン、インドなどの多彩なアジア映画が世界に紹介され、アジア映画がクローズアップされるようになりました。日本を代表する映画評論家であり、アジア映画研究者の先駆者であり、またアジア・フォーカス福岡映画祭のディレクターとして、長くアジア映画を世界に紹介してきた佐藤忠男氏から、日本と東アジアの映像文化について語っていただきます。

### 第3部 対談 映画『スパイ・ゾルゲ』をめぐる

映画『スパイ・ゾルゲ』をめぐる、篠田正浩監督と佐藤忠男氏による対談を行います。作品論はもとより、東アジア地域の近現代史や現状、交流の深い東アジア地域の映画界、映画人についてなど、幅広く語っていただきたいと考えております。



## 主催

日本／東アジア映像研究センター  
学校法人城西大学国際学術文化振興センター  
城西国際大学メディア学部

## 協賛

キネマ旬報映画総合研究所

## お申し込みとお問い合わせ

10月26日(月) AM.10:00より150名まで受け付けます。(参加費無料)  
参加希望の方は、FAXまたは電子メール m-info@jiu.ac.jp 宛てに、お名前、ご住所、電話番号 (FAX番号) を明記のうえ  
お申し込みください。(応募者多数の場合は抽選)  
FAX:0475-55-8822 城西国際大学メディアコミュニケーションセンター宛

## 学校法人城西大学 紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL:03-6238-1300

## アクセスインフォメーション

地下鉄有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分 5番出口より徒歩5分  
地下鉄南北線 永田町駅 9番出口より四歩5分  
地下鉄丸の内線・銀座線 赤坂伏見駅 弁慶口より徒歩8分